

□ 機能追加・改善内容

No.	項目	内容
1	NXconciiergeエージェント機能追加	NXconciiergeによるネットワーク機器管理のためのエージェント機能を追加した。
2	スマートワイヤレスマネージャ機能改善	スマートワイヤレスマネージャ機能にて、以下の機能を追加した。 1)設定画面 ・NXconciierge連携に関する設定画面を追加した。 ・認証サーバグループ毎のRADIUSサーバの登録台数を2台から4台に拡張した。 ・MACアドレス認証時に使用する認証パスワードとして任意の文字列を設定可能とした。 2)モニタリング画面 ・切断済端末の情報表示を可能とした。 3)障害診断機能 ・AP診断項目に、NXconciierge連携診断を追加した。 ・端末診断項目に、端末無線通信性能診断(干渉発生による性能低下)を追加した。
3	端末可視化機能	端末可視化機能で使用するベンダ名を解析するためのOUI辞書ファイルを更新した。 本対応により、解析できるベンダ名が増加する効果がある。

□ 修正内容

No.	影響範囲	内容
1	V20.06 ローミング実行時	本装置に接続された無線端末がローミングした際、約 2 秒間通信できない場合がある。
2	V20.06 ローミング実行時	ProxyARP機能の代理応答によりローミング先に接続した無線LAN端末が切断される場合がある。
3	V20.05 ~ V20.06 動的定義反映実行時	IEEE802.1X認証またはMACアドレス認証を使用する無線端末接続状態にて、動的定義反映を実施するとメモリリークが発生する場合がある。
4	V20.03 ~ V20.06 端末可視化機能利用時	端末可視化機能にて検出した端末情報の表示(show devscan)をした際、ベンダー名・ホスト名またはコンピュータ名の表示情報が文字化けする場合がある。
5	V20.03 ~ V20.06 音声通信利用時	本装置を介して音声通信を行うとSIPプロトコルの接続要求(INVITE)が破棄され、音声端末が鳴動せず通話できない場合がある。